

豊中市告示第304号

豊中市水道事業業務状況の公表

豊中市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例（昭和41年豊中市条例第46号）第8条の規定による令和2年10月1日から令和3年3月31日までの業務状況を、次のとおり地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2の規定に基づき公表します。

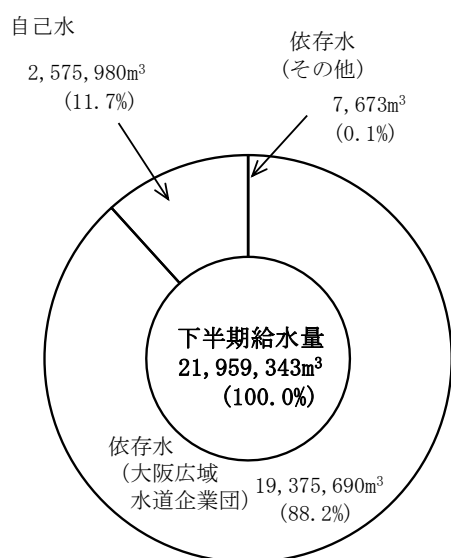
令和3年6月1日

豊中市長 長内 繁樹

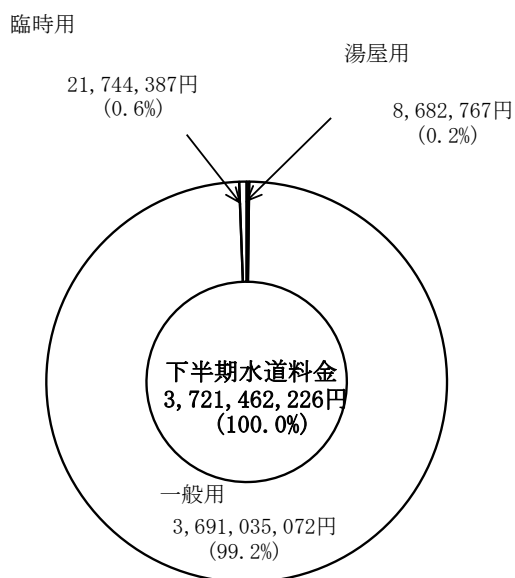
令和3年（2021年）3月31日現在

給水人口	400,948人
給水戸数	179,606戸
年間給水量	44,027,410 m <sup>3</sup>
一日最大給水量	133,462 m <sup>3</sup>
一日平均給水量	120,623 m <sup>3</sup>

下半期給水量とその区分



下半期水道料金収入



令和2年度(2020年度)下半期予算の執行状況 (消費税及び地方消費税込み)

収益的収支

収 入 4,214,860,674 円

8,318,466,577 円

予 算 費 目	下 半 期 予 算 の 執 行 状 況								累 計	
	0	5億	10億	15億	20億	25億	30億	35億		40億
営業 収 益	給 水 収 益 3,721,462,226 円	[Bar chart showing execution up to ~35 billion]								7,410,751,823 円
	受 託 工 事 収 益 12,064,308 円	[Bar chart showing execution up to ~35 billion]								17,641,289 円
	受 託 事 業 収 益 150,598,000 円	[Bar chart showing execution up to ~35 billion]								316,870,000 円
	手 数 料 収 益 21,511,800 円	[Bar chart showing execution up to ~35 billion]								47,142,000 円
	そ の 他 営 業 収 益 68,006,567 円	[Bar chart showing execution up to ~35 billion]								68,006,567 円
	加 入 金 111,386,000 円	[Bar chart showing execution up to ~35 billion]								205,871,600 円
営業 外 収 益	受 取 利 息 375,889 円	[Bar chart showing execution up to ~35 billion]								395,628 円
	他 会 計 補 助 金 18,853,369 円	[Bar chart showing execution up to ~35 billion]								28,816,369 円
	長 期 前 受 金 戻 入 102,503,068 円	[Bar chart showing execution up to ~35 billion]								204,852,332 円
	雑 収 益 8,099,447 円	[Bar chart showing execution up to ~35 billion]								18,118,969 円

支 出 4,282,406,685 円

7,353,507,676 円

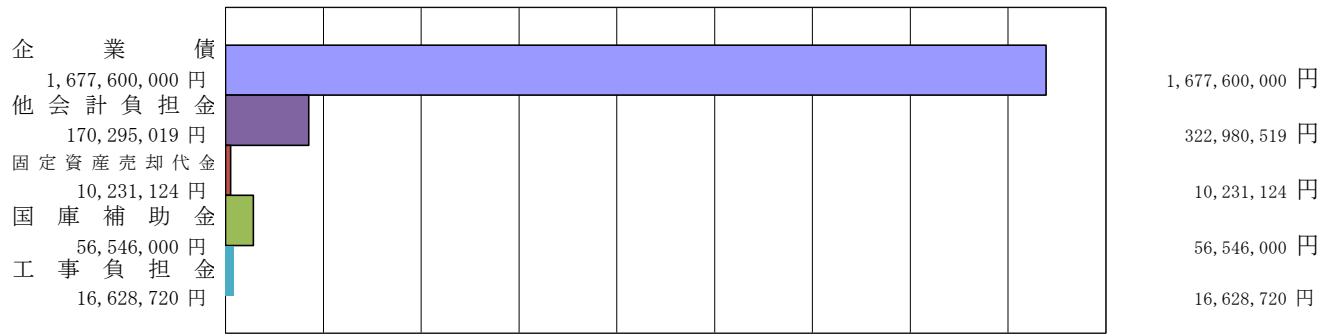
予 算 費 目	下 半 期 予 算 の 執 行 状 況								累 計	
	0	5億	10億	15億	20億	25億	30億	35億		40億
営業 費 用	職 員 給 与 費 806,889,482 円	[Bar chart showing execution up to ~10 billion]								1,281,173,789 円 (うち退職給付費 154,305,821円)
	受 水 費 1,640,068,006 円	[Bar chart showing execution up to ~15 billion]								2,893,180,000 円
	減 価 償 却 費 802,268,583 円	[Bar chart showing execution up to ~10 billion]								1,606,574,111 円
	そ の 他 680,169,618 円	[Bar chart showing execution up to ~10 billion]								1,032,011,477 円
	支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費 173,146,961 円	[Bar chart showing execution up to ~35 billion]								357,210,390 円
営業 外 費 用	消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 171,201,600 円	[Bar chart showing execution up to ~35 billion]								171,201,600 円
	雑 支 出 8,662,435 円	[Bar chart showing execution up to ~35 billion]								12,156,309 円
差 引 額 △ 67,546,011 円	[Bar chart showing execution up to ~35 billion]								964,958,901 円	

0      △5億      △10億      △15億      △20億      △25億      △30億      △35億      △40億

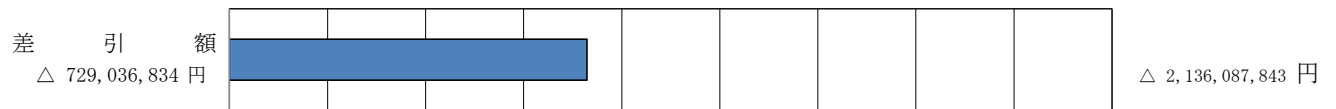
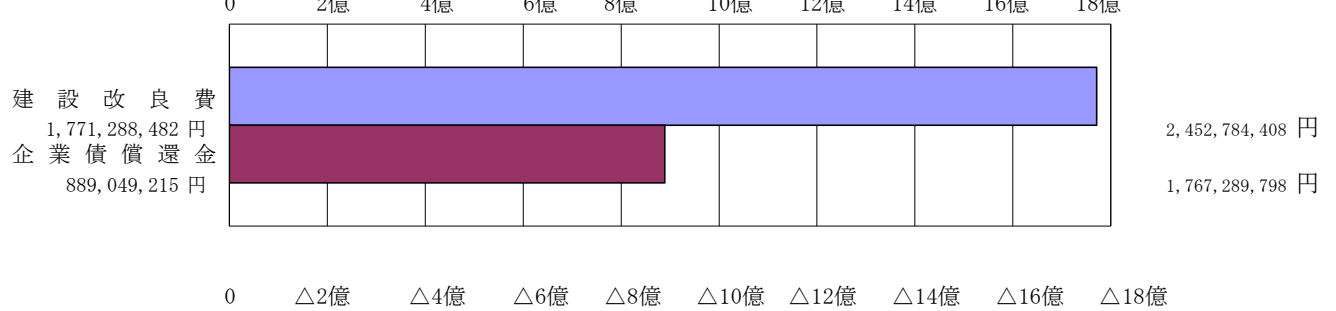
資本的収支

収入 1,931,300,863 円 2,083,986,363 円

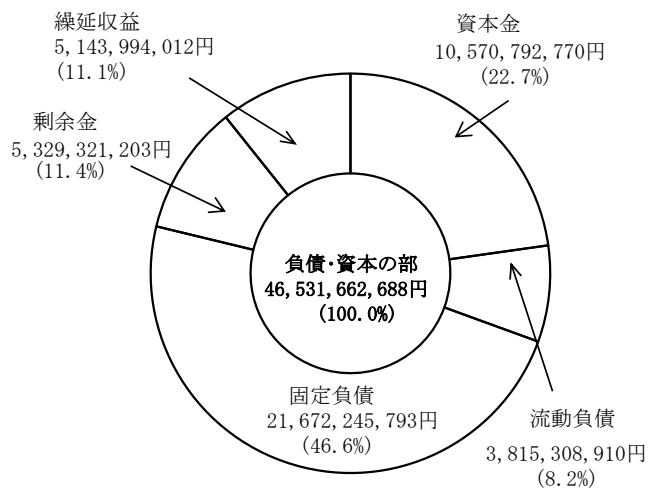
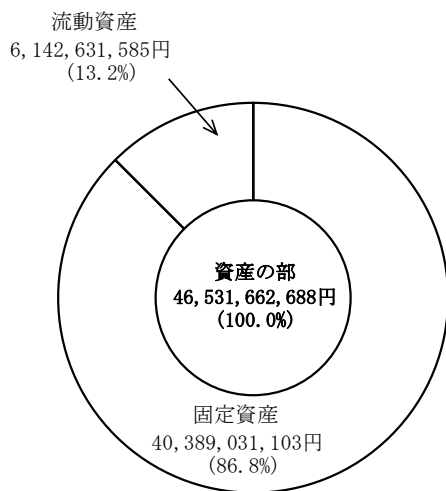
予 算 費 目	下 半 期 予 算 の 執 行 状 況										累 計
	0	2億	4億	6億	8億	10億	12億	14億	16億	18億	



支 出 2,660,337,697 円 4,220,074,206 円



貸借対照表（消費税及び地方消費税抜き）  
[令和3年(2021年)3月31日現在]



企業債現在高  
一時借入金現在高

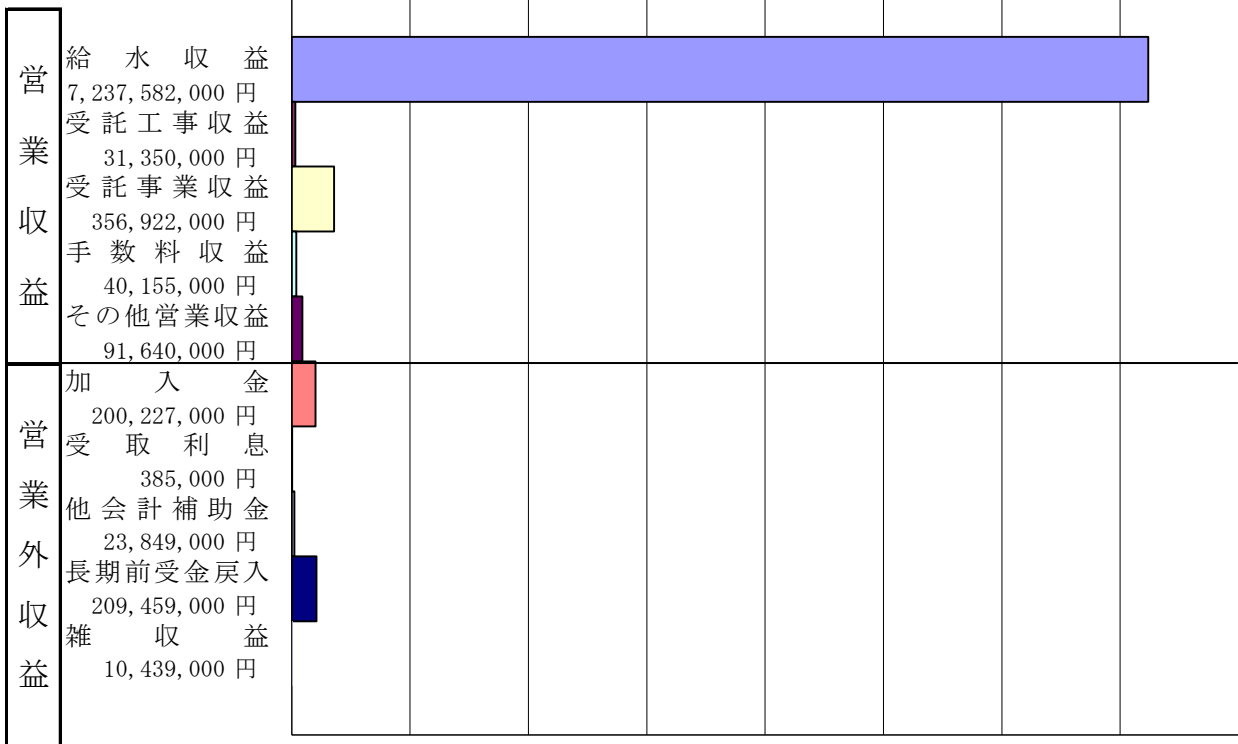
22,927,200,054 円  
0 円

令和3年度(2021年度) 予算の状況 (消費税及び地方消費税込み)

収益的収支

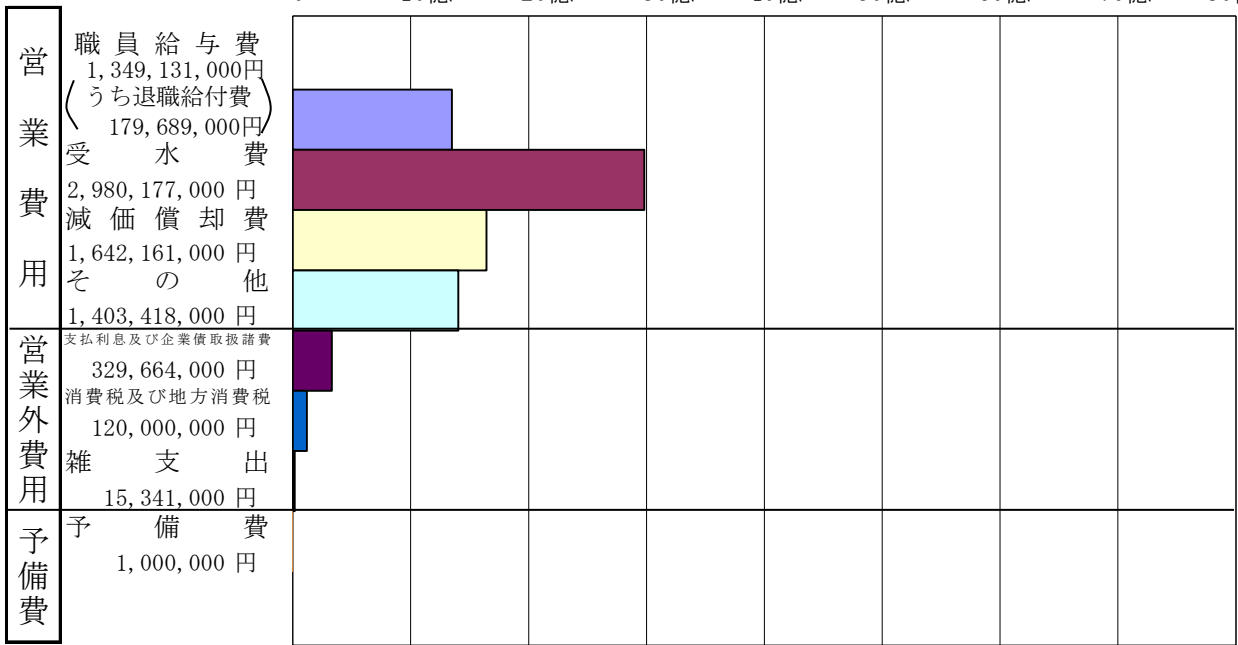
収入 8,202,008,000 円

0 10億 20億 30億 40億 50億 60億 70億 80億



支出 7,840,892,000 円

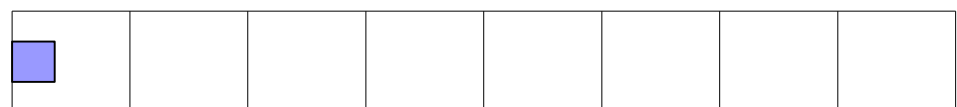
0 10億 20億 30億 40億 50億 60億 70億 80億



0 10億 20億 30億 40億 50億 60億 70億 80億

差引額

361,116,000 円



資本的収支

収入

1,875,681,000 円

0 5億 10億 15億 20億 25億

企業債

1,565,500,000 円

工事負担金

43,800,000 円

他会計負担金

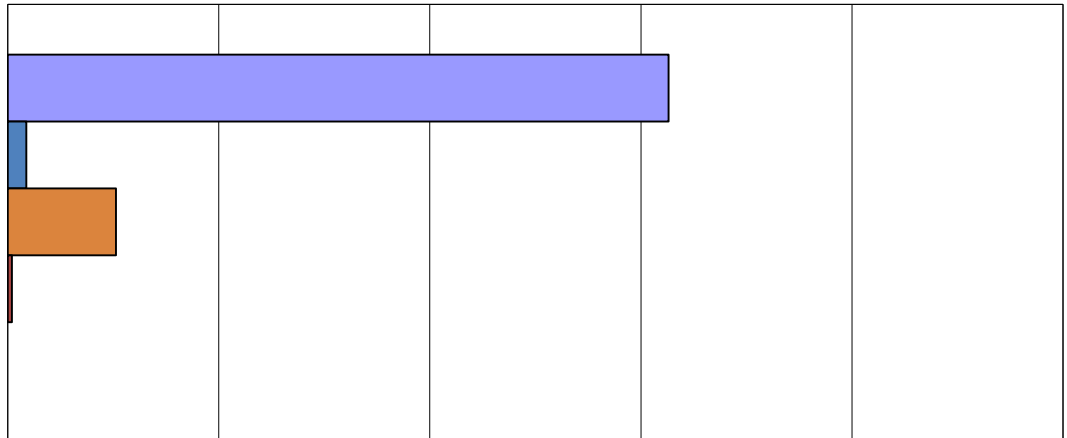
256,150,000 円

固定資産売却代金

10,231,000 円

国庫補助金

0 円



支出

4,205,569,000 円

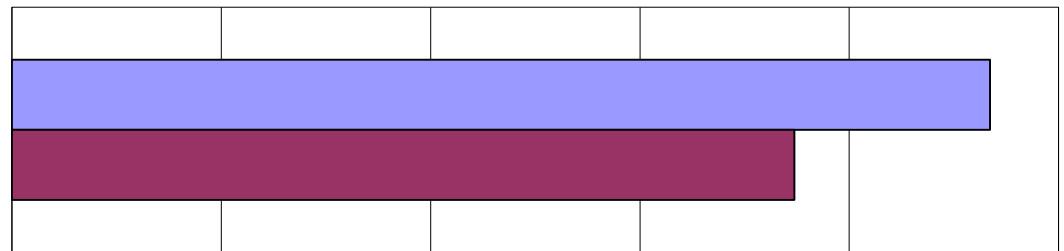
0 5億 10億 15億 20億 25億

建設改良費

2,336,427,000 円

企業債償還金

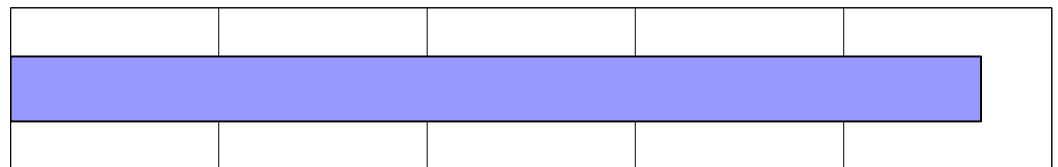
1,869,142,000 円



0 △5億 △10億 △15億 △20億 △25億

差引額

△ 2,329,888,000 円



## 令和3年度（2021年度） 経営方針

上下水道局は、「第2次とよなか水未来構想」に掲げた6つの目ざすべき将来像の実現を使命としています。令和3年度の予算編成においても、6つの将来像の実現に向け、上下水道施設の計画的かつ持続的な維持管理・改築更新および技術の継承に努めながら、私たちの暮らしや産業活動に欠くことのできないライフラインとしての機能確保を図ります。あわせて、効率的な事業運営や人材育成に努めながら、お客さまの視点に立った持続可能な経営基盤の確立をめざします。

### 〈水道事業会計〉

令和元年度決算は、純利益を確保することができ、資金剰余額は3,347,774千円でした。

令和2年度決算も、753,927千円の純利益を確保することができ、資金剰余額は、令和元年度から116,694千円増の3,464,468千円となる見込みです。

収入については、対前年度比で有収水量が866,533 m<sup>3</sup>の増、給水収益は51,854千円の増となっておりますが、有収水量の減少傾向やコロナ禍の影響等により、収益の根幹となる給水収益は引き続き厳しい状況が予想されます。

今後、施設の更新費用が必要となる中、限られた財源を計画的かつ効率的に活用し、老朽化した管路の更新、管路の耐震化など、安定給水を確保していくための事業を着実に進めます。

### 〈下水道事業会計〉

令和元年度決算は、純利益を確保することができ、資金剰余額は3,825,051千円でした。

令和2年度決算も、579,534千円の純利益を確保することができ、資金剰余額は、令和元年度から579,534千円増の4,404,585千円となる見込みです。

収入については、対前年度比で有収水量が776,105 m<sup>3</sup>の増、下水道使用料が32,636千円の増となりますが、水道事業会計と同様に、引き続き厳しい状況が予想されます。

今後、施設の更新費用が必要となる中、限られた財源を計画的かつ効率的に活用し、浸水対策、老朽化した管路の改築更新など、事業を着実に進めます。